

令和7年度 原子力 防災訓練

訓練資料



志賀原子力発電所の概要



所在地：石川県羽咋郡志賀町赤住 1

	出力	炉型	運転開始
• 1号機	54万kW	BWR	1993年7月
• 2号機	135.8万kW	ABWR	2006年3月



出典：北陸電力ウェブサイト(<https://www.rikuden.co.jp/outline1/equipment.html>)より

2011年3月の東日本大震災以降、1号機、2号機ともに運転停止中です

令和7年度石川県原子力防災訓練の概要について

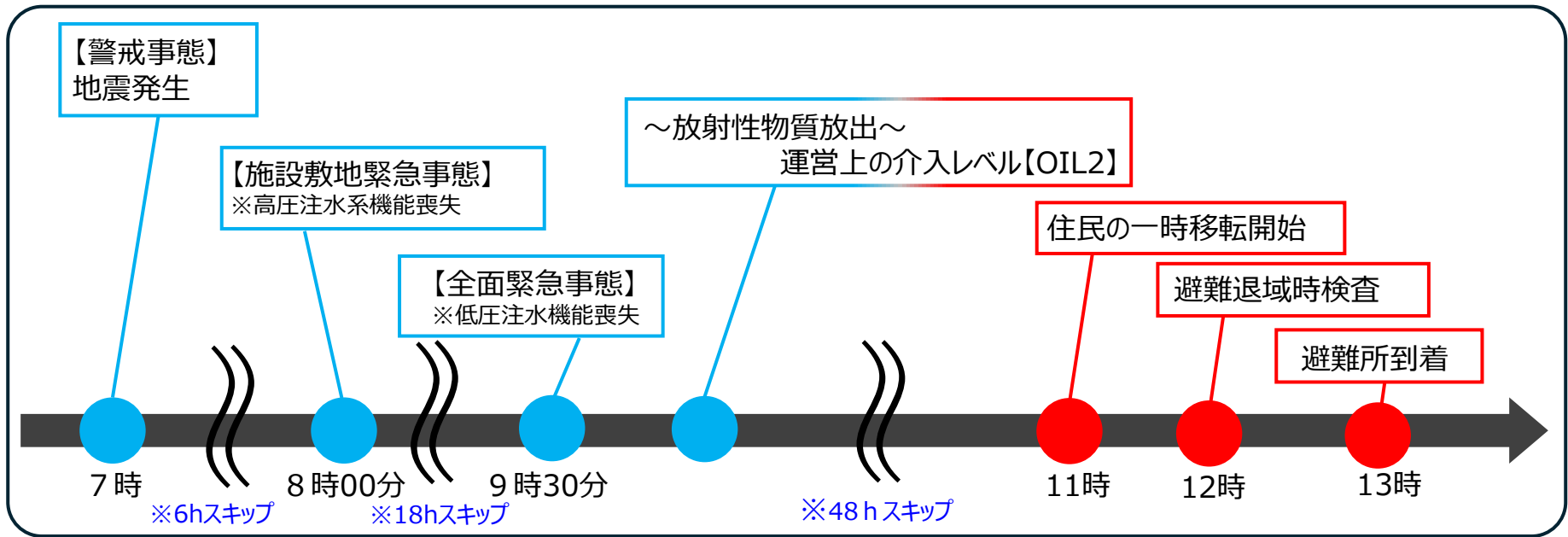
実施日	令和7年11月24日（月振休） 7時00分～14時00分	主要訓練 項目	(1)オフサイトセンター運営訓練 ・県現地災害対策本部を設置し、本部会議を開催するほか、国、県、関係市町等で構成する原子力災害合同対策協議会を設置し、テレビ会議システムを活用した全体会議を開催 ・国、県、関係市町等の情報共有や伝達訓練を実施
場 所	図上訓練：志賀オフサイトセンター 実動訓練：各所		(2)住民避難訓練 ・5km圏内及び5～30km圏内の住民は、事態の進展に応じて必要な対応を実施
目 的	原子力災害時の緊急時対応に万全を期すため、オフサイトセンターの運営や住民避難訓練などを実施し、原子力災害の対応体制を検証する。		(3)避難行動要支援者避難訓練 ・在宅の避難行動要支援者の避難 ・社会福祉施設の入所者の避難
訓練想定	志賀町で震度7の地震が発生し、志賀原子力発電所2号機において、原子炉が自動停止するとともに外部電源を喪失し、高圧で原子炉へ注水するための手段が喪失。 その後、常設代替低圧注水ポンプが使用不可となり、高圧系・低圧系の全ての注水機能を喪失したため、全面緊急事態となる。 事態がさらに進展し、放射性物質が放出され、その影響が発電所周辺地域に及ぶ。 →放射性物質が南東方向に拡散・沈着したと想定		(4)緊急時モニタリング訓練 ・OFCに緊急時モニタリングセンターを設置 ・モニタリング要員は実施計画に基づきモニタリングを実施
参加機関等	内閣府、原子力規制委員会、自衛隊、海上保安庁、北陸地方整備局、石川県、富山県、市町、県警本部、北陸電力(株)等 約240機関		(5)避難退域時検査訓練 ・30km圏外に避難退域時検査場所を設置し、放射性物質の汚染検査・簡易除染を実施
参加人数	約1,700名（うち住民参加 約600名）		(6)複合災害対応訓練 ・地震により道路が寸断された想定で、高機動車や空路、海路で避難する

訓練スケジュール

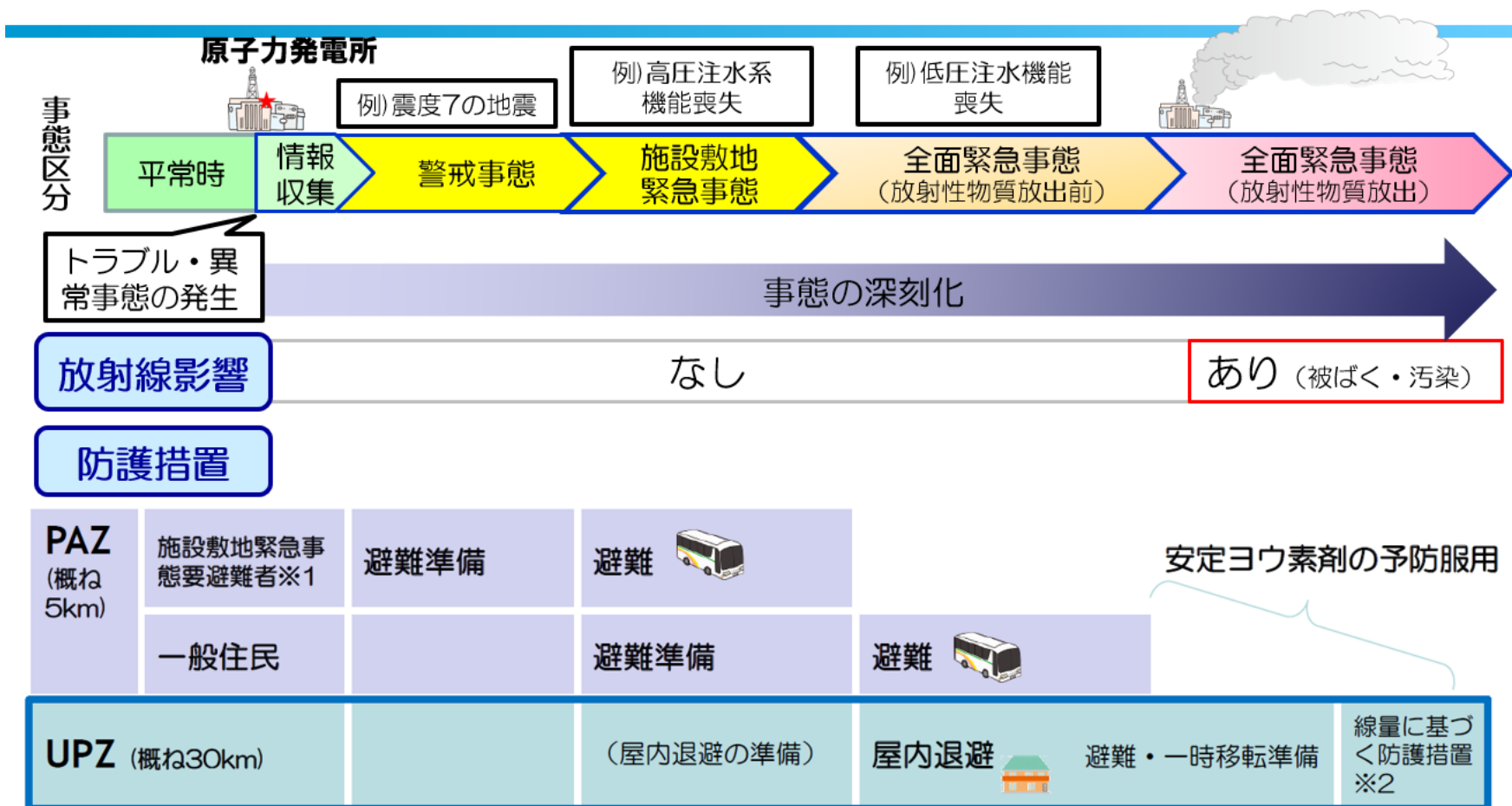
訓練全体の大まかな流れ

青書き：図上訓練（志賀オフサイトセンター）

赤書き：実動訓練（志賀町、中能登町、羽咋市 → 津幡町、金沢市、白山市）



各緊急事態区分における対応

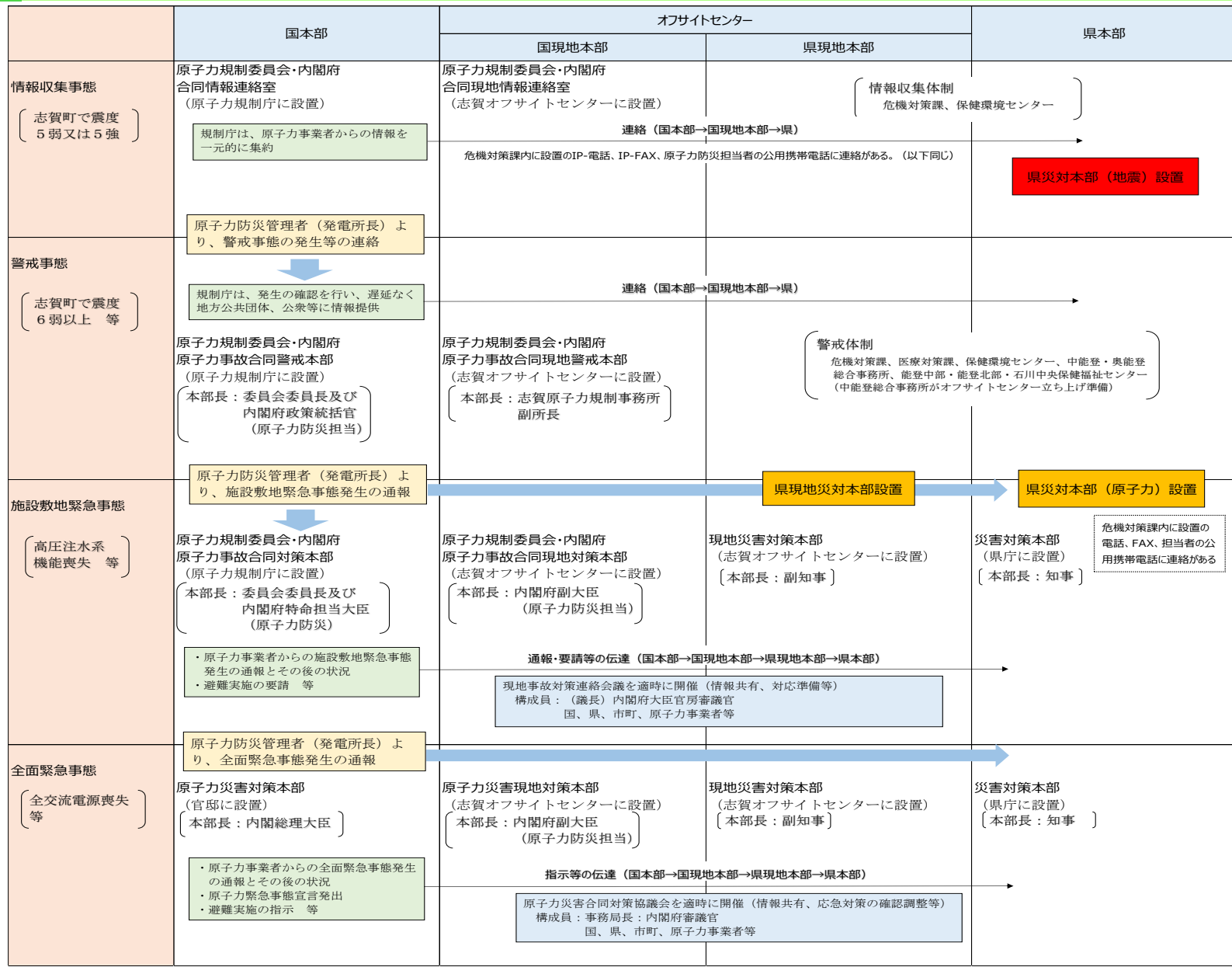


※1 高齢者、障害者のうち、避難の実施に通常以上の時間がかかる者及び妊婦、授乳婦、乳幼児及び乳幼児とともに避難する必要のある者、安定ヨウ素剤を服用できないと医師が判断した者

※2 線量が高くなった地域は避難または一時移転、それ以外の地域は屋内退避の継続

避難退域時検査場所で汚染検査、除染

原子力災害時の組織体制（国・県）



令和7年度石川県原子力防災訓練

個別の訓練内容

(1) オフサイトセンター運営訓練

内容

- ・要員の派遣、参集、入館者管理訓練
- ・通報連絡訓練
- ・機能班業務実施訓練
- ・現地事故対策連絡会議の開催
- ・原子力災害合同対策協議会の開催
- ・県現地災害対策本部会議の開催
- ・OFC施設活用訓練（非常用発電、空気清浄装置稼働）

参加者

原子力規制庁、志賀原子力規制事務所、関係消防本部、県警、自衛隊、海上保安本部、金沢海保、七尾海保、国交省北陸地方整備局、石川県、富山県、関係8市町、北陸電力(株) 他



R7訓練では、被災により要員の参集が遅れるなどの状況付与を行う

令和7年度石川県原子力防災訓練

個別の訓練内容

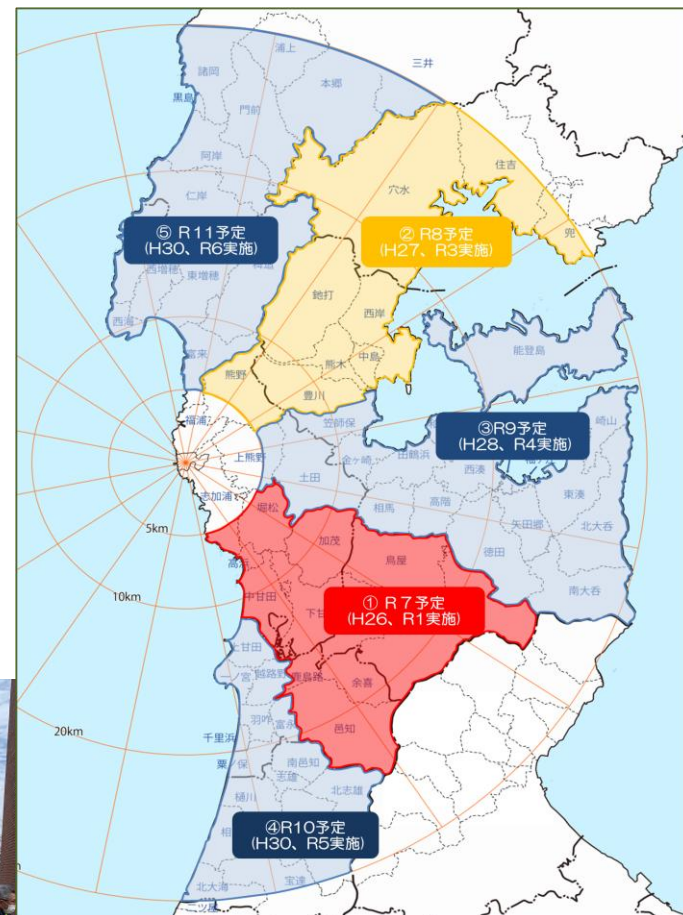
(2) 住民避難訓練

内容

- ・5 km圏内の住民は、全面緊急事態で指定避難所に避難
- ・5～30km圏内の住民は、全面緊急事態で屋内退避を実施し、その後、緊急時モニタリングの結果に基づき、避難対象地域（OIL2）の住民が指定避難所に一時移転
- ・**地震の影響で自宅での屋内退避が困難な住民は、近隣の指定避難所で屋内退避を実施**
- ・原子力防災避難用エアテントの展張訓練
- ・保護者への児童生徒引き渡し訓練

参加者

関係8市町、避難受入市町、学校管理者 他



令和7年度石川県原子力防災訓練

個別の訓練内容

(3) 避難行動要支援者避難訓練

内容

- ・在宅の避難行動要支援者の避難
- ・社会福祉施設の入所者の避難
- ※避難の実施により健康リスクの高まる者

参加者

志賀町、中能登町、羽咋市及び住民
社会福祉施設



在宅要支援者の避難

屋内退避

放射線防護施設

もしくは

原子力防災避難
用エアテント

避難準備

- ・移動用の福祉車両の確保



- ・受入れ先の準備



避難先

避難計画に基づく
協定締結先福祉避難所

もしくは

受入れ先病院など



社会福祉施設入所者の避難

令和7年度石川県原子力防災訓練

個別の訓練内容

(4) 緊急時モニタリング訓練

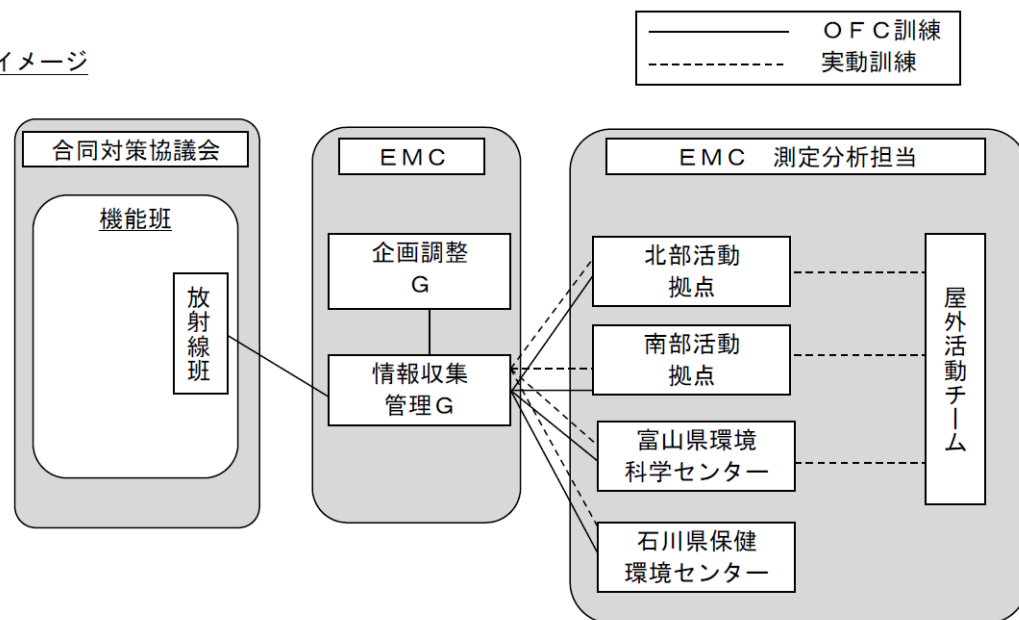
内容

- ・モニタリング本部を設置
- ・平時モニタリングの強化
- ・国はOFCに緊急時モニタリングセンター（EMC）を設置
- ・緊急時モニタリングによる空間放射線量率により、OIL2の基準超過区域の特定など

参加者

国、石川県、富山県、関係8市町、北陸電力(株)ほか

イメージ



緊急時モニタリングセンターの設置



無人航空機モニタリング

令和7年度石川県原子力防災訓練

個別の訓練内容

(5) 避難退域時検査訓練

内容

- ・必要な資機材等を設置し、検査体制を整備
- ・車両検査訓練・除染訓練
- ・住民検査訓練・除染訓練

参加者

石川県、北陸電力(株)、原子力災害医療機関ほか



令和7年度石川県原子力防災訓練

個別の訓練内容

(6) 複合災害対応訓練

内容

- ・地震により道路が寸断したという想定で、
 - ヘリコプターによる空路
 - 船舶による海路
 - 高機動車による陸路での避難の実施

参加者

石川県、陸上自衛隊、航空自衛隊、北陸地方整備局、建設業協会ほか



空路からの避難

